

米国環境保護庁  
ワシントン D.C 20460

大気放射局

2013年7月2日

ENERGY STARコンピュータ関係者もしくは他の関係者各位：

米国環境保護庁(EPA)は、ENERGY STARコンピュータ仕様バージョン6.0最終原稿(添付)及び米国エネルギー省(DOE)策定になるコンピュータ試験手順の最終ドラフト(添付)に関する関係者の意見を歓迎する。これらの文書に関するコメントの締切は7月23日である。EPA及びDOEは、7月9日12時PMのウェビナールを開催し、関係者と意見を交換する。詳細については来週、RSVP (ご返事願う) 関係者に、Eメールcomputers@energystar.govで連絡する。

EPAは、ENERGY STAR関係者の、本仕様バージョン6.0の完成に向けた協力を感謝する。本仕様は2014年4月28日に発効となる。

### **変更範囲**

本仕様の最終原稿は、過去3回の改訂草稿に対してEPAが受領した関係者からの意見を反映し、広範囲にわたる関係者との多方面の約束を表している。これは、データレビュー及び分析、追加のグラフィックスカード試験、及び2年にわたる関係者との徹底した検討の結果である。バージョン6.0の最終原稿では、コンピュータ要件に対し以下の変更を行い、変更の要点を全て本仕様草稿中の注記枠に記述した。

- 仕様をより明確にするために、EPAはデスクトップ用にITI分類システムを採用した。EPAおよび関係者の結論は、ITI分類システムを採用すればTECレベルの効率性を替えなくてよいということになった。
- EPAは、関係者の意見及び更なる分析及び試験を踏まえ、デスクトップ分類及びグラフィックカードに対するTECレベルを選ぶように調整した。【adjusted selectは英語誤りでadjusted to selectと解釈した】
- 関係者との意見交換後、EPAは、システムスリープモードを実行できないシステムは、TECを計算する時には、スリープモード消費電力の代わりに長期アイドル消費電力を用いてもよいという提案をした。
- EPAは、ノートブック比率、IPSとEPSに対するPSU優遇策を公平にし、及びENERGY STAR小型ネットワーク機器仕様の基づく節電型イーサネットに対する優遇策を策定し追加した。
- 最後に、DOE及びEPAは、新型ワークステーション試験のベンチマークの使用を要求する提案を削除し、コンピュータバージョン7.0で新しいベンチマークを策定すべく産業界と共に作業を進める予定である。

### **第三者による認証**

2011年1月1日以降、製造事業者は、ENERGY STARとしてラベル表示し(マークし)市場に出す前に、全ての新製品はEPAが認証した認証機関(CB)による認証を取得しなければならないことを忘れてはいけない。全ての認証要件を完了した上で、CBは、ENERGY STARパートナーに、その製品がENERGY STAR適合であることを通知し、適合製品データをEPAのENERGY STARのウェブサイトの一覧に届出ることになる。第三者認証プログラムに関するさらなる情報については、[www.energystar.gov/3rdpartycert](http://www.energystar.gov/3rdpartycert)を参照のこと。

有意義な仕様及び試験方法の策定及びENERGY STARの全体としての成功にとり、関係者の参加が極めて重要である。質問については、EPAのRJ Meyers (Meyers.Robert@epa.gov,もしくは202-343-9923) もしくは、ICF InternationalのMatt Malinowski (Matt.Malinowski@icfi.com,もしくは202-862-2693) に直接連絡すること。試験方法に関する質問については、DOEのBryan Berringer (Bryan.Berringer@ee.doe.gov, or 202-586-0371) に直接連絡すること。

ENERGY STAR プログラムに対する関係者の支援に感謝する。

Sincerely,

Robert Meyers

Product Manager, ENERGY STAR Data Center Products

以上